

しょう4 しゃかい「自然災害から暮らしを守る」 その1

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 9月1日の、災害にそなえる日を何という？

ア 海の日 イ 文化の日 ウ 子どもの日 エ 防災の日 こたえ _____

2 電柱などにある「海拔〇m」の表示は何を知らせる？

ア その場所の海面からの高さ イ 電柱の高さ ウ 海までの距離 エ その日の気温
こたえ _____

3 次のうち、共助にあたるのは？

ア 持ち出しぶくろを自分で用意する イ 家具を自分で固定する
ウ 近所の人と声をかけ合って避難する エ 市が防潮堤を作る こたえ _____

4 火事や急な病気・けがのとき、消防にかける電話番号は？

ア 119番 イ 117番 ウ 118番 エ 110番 こたえ _____

5 大雨などで大きな災害のおそれがあるとき、気象庁が出すのは？

ア 校内放送 イ 注意報より弱いお知らせ ウ 警報 エ 運動会の案内 こたえ _____

6 災害で家に住めなくなった人が、しばらく生活する所を何という？

ア 交番 イ 避難所 ウ 防潮堤 エ 避難タワー こたえ _____

7 災害用のびちく品としてふさわしいのは？

ア おもちゃだけ イ 水・食料・電池・救急用品 ウ 花火 エ まんが本だけ
こたえ _____

8 「自助」とは？

ア 会社の仕事 イ 国が行う救助 ウ 自分や家族の身は自分たちで守ること
エ 近所の人どうしの助け合い こたえ _____

9 川の水があふれて回りが水びたしになる災害は？

ア 地震 イ かんばつ ウ 噴火 エ こう水(水害) こたえ _____

10 ^{みず} 水や ^{しょくりょう} 食料は、^{すく} 少なくとも ^{なんにちぶん} 何日分 ^{たくわえ} たくわえと ^{よい} よいと ^{されて} されている？

^{ねんぶん} ア 1年分 ^{はんにちぶん} イ 半日分 ^{みっかぶん} ウ 3日分 ^{いちぶん} エ 1日分 ^{こたえ} こたえ _____

11 ^{さいがい} 災害の ^{じょうほう} 情報を ^え 得るのに、^{でんち} 電池でも ^{つか} 使えて ^{やくだ} 役立つものは？

^き ア ゲーム機 ^{そうじ} イ 掃除機 ^{おお がめん} ウ 大画面テレビだけ ^エ ラジオ ^{こたえ} こたえ _____

12 ^{うみ} 海の ^{ちか} 近くの ^{まち} 町で、^{つなみ} 津波の ^に とき ^き 逃げこめるように ^{たか} 決められた ^{たても} 高く ^{なん} じょうぶな ^{なん} 建物を ^何 何
^{という} という？

^{かせつ} ア 仮設住宅 ^{ぼうさい} イ 防災倉庫 ^{しょうぼうしょ} ウ 消防署 ^{つなみ} エ 津波避難ビル ^{こたえ} こたえ _____

13 ^{だいじしん} 大地震に ^{いえ} そなえて ^{くふう} 家で ^{できる} できる ^{工夫} 工夫は？

^{かぐ} ア 家具を ^あ たくさん ^{おも} つみ上げる ^{もの} ^{たか} 重い物を ^{たか} 高い所に ^お 置く

^{かぐ} ウ 家具が ^{こてい} たおれないように ^{まど} 固定する ^あ ^エ 窓を ^あ 開けておく ^{こたえ} こたえ _____

14 ^{やま} 山の ^{めん} しゃ面に ^つ 積もった ^{ゆき} 雪が ^{いっき} 一気に ^お くずれ ^{さいがい} 落ちる ^{さいがい} 災害は？

^ア なだれ ^{どしゃ} イ 土砂くずれ ^{たつまき} ウ 竜巻 ^{つなみ} エ 津波 ^{こたえ} こたえ _____

15 ^{こうじょ} 「公助」とは？

^{かぞく} ア 家族で ^{みず} 水を ^{ため} ためること ^{とも} ^{あそ} イ 友だちと ^{あそ} 遊ぶこと ^{くに} ^{けん} ^し ウ 国や ^{おこな} 県・市などが ^{きゅうじょ} 行う ^{しえん} 救助や ^{しえん} 支援

^{きんじょ} ^{たす} ^あ エ 近所の ^{たす} 助け合い ^{こたえ} こたえ _____

16 ^{ひなんじょ} 避難所で ^{みんな} みんなが ^{くら} くらす ^{とき} ときに ^{たいせつ} 大切な ^{こと} ことは？

^{おお} ^{こえ} ア 大きな ^{こえ} 声で ^{さわ} さわぐ ^{きまり} ^{まも} ^{たす} ^あ イ きまりを ^{まも} 守り、^{たす} 助け合う ^あ ^ウ ごみを ^{その} そのままに ^{する} する

^た ^{もの} エ 食べ物を ^{ひとり} ひとりじめする ^{こたえ} こたえ _____

17 ^{おおあめ} 大雨のとき ^{きけん} 危険な ^{ばしょ} 場所や ^{ひなん} 避難する ^{みち} 道を ^{まえ} 前もって ^{しら} 調べておく ^と と ^{よい} よいのは ^{なぜ} なぜ？

^{あんぜん} ^{はや} ^に ア 安全に ^{はや} 早く ^に 逃げられるから ^{さいがい} ^い ^{さいがい} イ 災害が ^{なくなる} なくなるから ^{あめ} ^や ^ウ 雨が ^や 止むから ^{たの} ^エ 楽しいから

^{こたえ} こたえ _____

18 ^{ひなん} 避難の ^{しかた} しかたを ^{みんな} みんなで ^{れんしゅう} 練習する ^{ぎょうじ} 行事を ^{なん} 何 ^{という} という？

^{がくげいかい} ^{えんそく} ^{ひなん} ^{くんれん} ^{おお} ^エ ^{おお} 学芸会 ^{えんそく} ^イ 遠足 ^{ひなん} ^{くんれん} ^ウ 避難訓練 ^{おお} ^エ 大そうじ ^{こたえ} こたえ _____

19 ^{つなみ}津波から ^に逃げたあと、いつまで ^{たか}高い ^{ところ}所に いる？

ア ^{つなみ}津波の ^{けいほう}警報や ^{ちゅういほう}注意報が ^{かいじょ}解除されるまで **イ** ^{かい}1回めの ^{なみ}波が ^く来るまで **ウ** ^{ふん}10分 たつまで

エ ^{うみ}海が ^{しず}静かに ^み見えるまで **こたえ** _____

20 ^{かみなり}雷が ^な鳴っているとき、^{あんぜん}安全なのは？

ア ^{たか}高い ^き木の ^{した}下に ^た立つ **イ** ^{きんぞく}金属の ^{ぼう}棒を ^も持つ **ウ** ^{たてもの}建物や ^{くるま}車の ^{なか}中に ^{はい}入る

エ ^{ひろ}広い ^まグラウンドの ^{なか}真ん中に ^た立つ **こたえ** _____

こたえ しょう4 しゃかい「自然災害から暮らしを守る」 その1

- | | | | |
|----|------------------------|----|------------------------|
| 1 | エ 防災の日 | 11 | エ ラジオ |
| 2 | ア その 場所の 海面からの 高さ | 12 | エ 津波避難ビル |
| 3 | ウ 近所の 人と 声を かけ合って 避難する | 13 | ウ 家具が たおれないように 固定する |
| 4 | ア 119番 | 14 | ア なだれ |
| 5 | ウ 警報 | 15 | ウ 国や 県・市などが 行う 救助や 支援 |
| 6 | イ 避難所 | 16 | イ きまりを 守り、助け合う |
| 7 | イ 水・食料・電池・救急用品 | 17 | ア 安全に 早く 逃げられるから |
| 8 | ウ 自分や 家族の身は 自分たちで 守ること | 18 | ウ 避難訓練 |
| 9 | エ こう水(水害) | 19 | ア 津波の 警報や 注意報が 解除されるまで |
| 10 | ウ 3日分 | 20 | ウ 建物や 車の中に入る |